

Shell Tellus S2 M

・耐摩耗性
・グローバルスタンダード

シェル テラス S2 M

シェル テラス S2 M は多くの油圧機械に使用され、世界中の油圧機器メーカーや需要家にその優秀性が認められております。またシェル独自の特許技術を活用し、機器にとって厳しい条件下であっても油圧機器を効率よく管理することができる油圧作動油です。工業、建設機械、船舶などの油圧機器のみならず、ギヤ・軸受の潤滑油としてもご使用いただけます。

製品性能と特徴

油圧機器の寿命延長

シェル テラス S2 M は高度精製された基油に、厳選した耐摩耗剤を添加しており、油圧ポンプや油圧装置の寿命延長が期待できます。

優れた耐摩耗性

シェル テラス S2 M に添加している耐摩耗剤は、各種油圧ポンプの摩耗進行を著しく抑えることが実証されています。ピッカース 35VQ25 ポンプテスト、デニソン T6C ポンプテストをはじめ、国内外の各種ポンプ試験を実施し、その評価結果は良好です。

錆や腐食の発生を防止

シェル テラス S2 M には、防錆・防食に効果のある添加剤を配合していますので、金属面を保護膜で素早く被うことで錆や腐食から油圧機器を守ります。特にこれまでの作動油の弱点であった銅に対する腐食を大幅に抑制します。

放気性が良い

油圧装置や潤滑箇所における不規則な運転の原因の一つに、キャビテーションがあります。キャビテーションの多くは、油中の泡が主な原因です。シェル テラス S2 M には、油中の泡を速やかに放気するよう厳選した添加剤を使用していますので、キャビテーションを抑えます。

水分離性が良い

シェル テラス S2 M は、水分離性が良く、万一油圧系統内に水が入ったとしても乳化しにくい性能を有しています。したがって油圧機器の水によるダメージを最小限に抑えることが期待できます。

メンテナンス低減 - ロングライフ -

シェル テラス S2 M は、高圧、高温の条件下でも優れた熱・酸化安定性を有し、スラッジ発生も少なく油圧系統内をクリーンな状態に維持することができ、メンテナンスの負担を低減します。

油種統合が可能

シェル テラス S2 M は、油圧作動油としての性能だけでなく、ギヤ、軸受等の潤滑油としても使用でき、誤給油の防止、在庫管理の簡素化が図れます。

承認・適合規格

承認

- ・ Denison Hydraulics (HF-0, HF-1, HF-2) (ISO22,100を除く)
- ・ Fives Cincinnati P-68 (ISO 32), P-70 (ISO 46), P-69 (ISO 68)
- ・ Eaton Vickers (Brochure 694) (ISO100を除く)
- ・ Bosch Rexroth RD 90220-01

規格

- ・ ISO 11158 (HM fluids)
- ・ ASTM 6158-05 (HM fluids)
- ・ DIN 51524 Part 2 HLP type
- ・ GB 111181-1-94 (HM fluids)

シェル テラス S2 M 代表性状*								
油種	項目	密度 (15) g/cm ³	引火点 (開放式)	流動点	色	動粘度 mm ² /s		粘度 指数
						@40	@100	
シェル テラス S2 M 22		0.859	210	- 30.0	L0.5	22	4.4	107
シェル テラス S2 M 32		0.868	228	- 30.0	L1.0	32	5.6	112
シェル テラス S2 M 46		0.873	230	- 30.0	L1.0	46	7.0	109
シェル テラス S2 M 68		0.878	252	- 30.0	1.0	68	9.0	107
シェル テラス S2 M 100**		0.883	258	- 25.0	1.0	100	11.6	104

*代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変更される場合があります。(2017-10)

** シェル テラス S2 M 100 は、可燃性液体類です。

シェル テラス S2 M の販売荷姿 : 200L ドラム 20L ペール缶

使用上の留意点

- ・機械および潤滑油を長持ちさせるため、新油をタンクに張り込む前に必ず装置のフラッシングを行ない、内部及び潤滑箇所を清浄にするとともに、使用中も異物が混入しないように機器のメンテナンスに充分留意してください。
- ・また、他銘柄との混合使用は油の性能低下をきたすことが考えられますのでできるだけ避け、止むを得ない場合は、時期をみて早めに一度全量交換することをおすすめします。
- ・ご使用にあたっては、事前に安全データシート(SDS)をご覧ください。
- ・製品の海外輸出に際しては、輸出貿易管理令の該非判定だけでなく、その他の要件によって日本政府当局への許可申請が必要になる場合があります。また、仕向国の法規等により輸入制限を受ける場合もありますので、製品を自ら輸出されているお客様は、この点をご理解の上ご自身の責任で必要な措置を講じるようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、ルプカスターサービスセンターまでお問い合わせください。

本資料は、事業者様向けに作成されたものです。



取扱上の注意 下記の注意事項に従ってお取扱ください。

取り扱い上の注意	
【安全対策】	・使用前にカタログ、SDS を入手し、全ての安全情報を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・取り扱う際は保護具を使用すること。
【応急措置】	・飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。 ・無理に吐かせないこと。 ・飲み込むと下痢・嘔吐を起こすことがあります。 ・目に入ると炎症を起こすことがあります。目に入った場合は、清浄な水で最低 15 分間洗浄し、医師の手当てを受けること。 ・皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。皮膚に付着した場合は、水と石鹸で十分に洗うこと。
【保管】	・直射日光を避け、換気の良い場所に保管すること。 ・ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管すること。
【廃棄】	・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。具体的には、都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 ・不明な場合は購入先に相談の上処理すること。

Ver.1. 2017.11.1